

エッジ側でカメラ映像にAI処理を付加することにより、 様々な用途に活用できます。

<エッジAIソリューション・実演デモ>

① 人数カウントカメラ

【概要】 領域内に滞在する人数や所持品等をカウントします

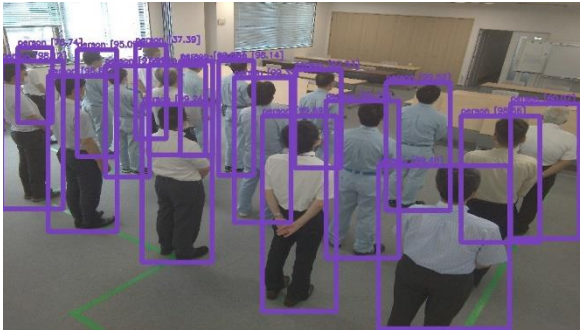
- 【特徴】
- ・ カウント数を記録することにより、人流の数値化・統計データ化ができます
 - ・ カウント閾値を設定・通知することで、混雑状況に応じた対応が可能になります

② 色灯信号機・現示認識カメラ

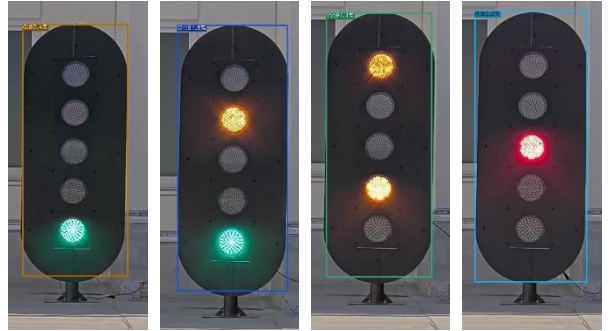
【概要】 独自の学習データで作成されたAIモデルにより、色灯信号機（5灯）の現示状態を認識・表示します

- 【特徴】
- ・ ユーザーが知りたい状態を別途学習させることで、鉄道オペレーションに合わせたシステムを提案できます
 - ・ 通知条件を設定することで、監視カメラをIoTセンサとして活用することが可能です

① 人数カウントカメラ（イメージ）



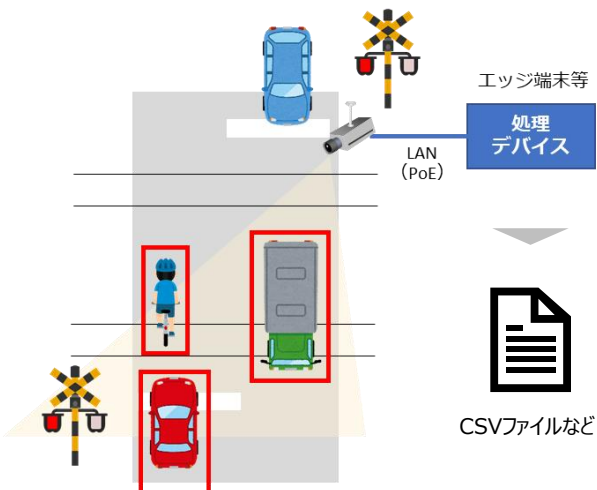
② 色灯信号機・現示認識カメラ（イメージ）



<エッジAIソリューション・システム応用例>

① 踏切交通量計測システム

- ・ 踏切交通量調査の省力化に活用できます
- ・ 踏切を通過する車両数、人員数をカウントします
- ・ 時間別の統計数としてファイルに保存します



② セクション停車検知システム

- ・ セクション停車事象の発生を自動検知します
- ・ 指定領域内でのパンタグラフの滞留を検出します
- ・ メール・ポップアップ等でユーザーに通知します

